

サミュエルRディレーニイ 『バベル-17』

takaidos

サミュエルRディレーニイ。
1966年発行。

岡部宏之・訳。
1973年発行。

バベル-17というコードネームで呼ばれる謎の信号の謎を解析するために、元暗号部のリドラ(26歳女性)が航海に出る。率いる仲間は20人の改造人間や幽霊たち。スペース・オペラ系ファンタジー。調子は明るい、ときどき内容が判りづらい。

独特の設定、雰囲気意外と面白く、幽霊や霊体人区が出て来るので、もっといろいろな事件と遭遇してもよかったし、それ以前に幽霊の能力、生活とか心境なども語らってほしかった。

<目次>

第1部リドラ・ウォン
第2部ヴェル・ドルコ
第3部ジェベル・タリク
第4部ザ・ブッチャー
第5部マルクス・トゥムワルバ
解説/浅倉久志

<登場人物>

リドラ・ウォン:26歳女性。元暗号部。詩人。父は天王星付近の航宙センターの通信技師、母は外部世界法廷の翻訳係。ランボー号の船長。12歳で地球言語7種類を覚え、15歳まで吃り。20歳で軍の？暗号部を退職。平民。

X.J.フォレスター:軍司令官。将軍。50歳代。

マルクス・トゥムワルバ:精神分析医。12歳まで自閉症だったリドラを診療。モッキー。

ダニルDアプルビー:税関職員。

ローム:パイロット。母親は監督(スラグ)。120歳。ゴシップ屋、世話焼き。

ブラス:パイロット。レスラー。四つ脚の獣のように人体改造している。

モリャ・トゥワ:第一航宙士。女性。

カリ:第二航宙士。大男。

ロン:第三航宙士。痩せた小男。

<目>霊体人

<耳>霊体人

<鼻>霊体人

<監督>太ったひょうきん者

<機関兵>プラトーン。11人？

ディアバロ:コック。17歳、白子の少年。頭に二本の角を付けている。

カルロス:機関兵のひとり。推進管係。

リジー:機関兵。

ラット:機関兵。

フロップ:機関兵。

フェリクス・ヴェル・ドルコ男爵:兵器廠長。残虐で危険な兵器を開発・収集している。広大な家に夫人と住む。

TW55:高性能の人間型アンドロイド。スパイとして活動出来る。

アルバート・ヴェル・ドルコ:フェリクスの弟。

ジェベル・タリク:シャドウ・シップ『タリク』号の船長。スパイダー・シップも操る。

ブッチャー:タリクの副官。殺し屋。ティティンに収容されていたが脱走した。

グリフィン:

銀髪:

クリク:道化師。羽根毛。

ジェフリー・コード:断層の下の竜の舌でジェベルを暗殺しタリク号を乗っ取ろうとした。

インベイダー:踏査された7つの宇宙に9つの種族がいる。そのうち3種族は人類の同盟に参加、4種族は敵対、2種族は中立。

シリア星人:同盟軍側。繁殖は気温に左右される。

<あらすじ>

52:リドラの一家、天王星-XXVIIに引越し。

68:各地で事故か破壊活動が発生。

現在:20年前に地球圏に侵略があり各地で”通称途絶(エンバーゴウ)”が発生。恐慌、暴動、焼き打ち、人肉嗜食があった。

リドラは暗号部を退職して6年が経過していた。

暗号部からリドラに対してバベル-17の暗号解析が依頼され、フォレスター将軍がリドラに挨拶に来る。

リドラは精神医モッキーに会いに行つてふたたび恒星間宇宙船に乗

って暗号文を解析する旅に出ると言う。

ブラスをパイロットとして雇うためにプロレス会場に行ってスカウトする。

第1～第3航宙士を雇い、三体の霊体人(死んで魂になった人。目、耳、鼻)、監督、機関兵を雇い、宇宙船ランボー号に乗って総人数21人で出発する。

しかし船内機関部で基盤の一部が焼かれる。内部に敵がいる疑念を持つ。

①ベラトリクス星系。小惑星と車輪から成る同盟軍兵器廠。アームセッジ星。

一向は兵器廠長のヴェル・ドルコ男爵の屋敷を訪れ歓待を受ける。しかしバベル-17の電波が届いた直後、男爵はなぜの男にバイブラ・ガンで殺されてしまい、みんなパーティー会場から逃げ出す。リドラたちのランボー号は何者かによって強制的に発進させられてしまう。

②リドラたちはジェベル・タリク配下のブッチャーに保護される。インベイダーの駆逐艦が同盟の輸送船を攻撃し、ジェベルはインベイダーに攻撃を加える。

リドラは適確な指示を出してジェベルを勝利させる。

ジェフリー・コードがジェベルを暗殺してタリク号を乗っ取ろうとする。

リドラはバベル-17でテレパシーでジェフリーを衰弱させ、ブラスがジェフリーを殺して事なきを得る。

バベル-17を解析すると、次は同盟行政府で事件が起こるはずだった。

リドラはジェベルに自分たちをそこへ連れて行くように要請する。

③タリク号の霊体人区。

リドラとブッチャーの会話。

リドラはブッチャーになぜか魅力を感じていた。

ブッチャーには『私(アイ)』が無く『わたし(アイ)』と『あなた(ユー)』の区別が無かった。

リドラは自分は人の心が読める(テレパシー)と告白し、ブッチャーは危険が迫ったら自分の頭の中に入れてもよいという。

ブッチャーは自分がかつてインベイダーに捕まり、脳に何かをされたり、ティティンで同盟軍にも捕まる脱走したと告白する。そして今でも自分が何者か分からなかった。

④再びインベイダー船との戦いが始まる。

敵船のがタリク号より大きかった。

ブッチャーはリドラたちに自分のスパイダー・シップ号に乗ってもらい指揮を頼む。

近くにシリビア星人の宇宙船(串焼き状)がいて、彼らは攻撃されれば強力な熱線兵器で反撃するのを利用して、敵インベイダー船を見事に破る。

しかしリドラは幽霊に襲われる。

(→航海の初めから船内にいたスパイは幽霊だったのか？あとでバベル-17の影響によるものらしい記述があるが)。

リドラは悪寒に倒れつつもブッチャーが飲もうとした酒びんを払い落とし、協約によってブッチャーの脳に入った。

リドラとブッチャーの心は融合した。

リドラはブッチャーの記憶を観ることが出来た。

リドラはかつて録音されたテープのスポールをトゥムワルバ博士宛てに送り、自分たちがたどり着いた同盟軍行政府に来てもらう。

トゥムワルバ博士はブッチャーとリドラと話す。

ブッチャーはアームセッジ星生まれのナイルズ・ヴェル・ドルコという人物だった。父親(フェリクス?)にスパイとして育てられ、TW-55を統率して大規模な諜報活動を展開していた。

しかしインベイダーに捕まり記憶を消され、バベル-17のみ伝達手段として受け入れられるようにして同盟軍側に放たれたのだった。

リドラとブッチャーたちは同盟軍最大の戦闘艦クロノス乗って、インベイダー司令官メイロウの机の上にメッセージを置きに向かうのだった。

<メモ>

マリオ・ペイ

『言語ほど完全に文明を反映するものはない。

もし言語に対する我々の知識、あるいは言語しれ自体が完全でなければ、文明もまた完全ではない。』

・ガジェット

感応バンク

フォースフィールド(力場):ものを浮かせられる。

恒星間宇宙船:

美容整形で様々な容姿。

サイケ指数:船員を集めるときに審査する指数。破壊工作などしないか精神病理学的に検査された数値。→ド・フォール理論の心霊指数(サイキック・インデックス)?

感覚ヘルメット:

超静止空間(ハイパーステイシス)装置:

バイブラ・ガン:

霊体人通話機:

超静止発信機:

- ・ 霊体人(ディスコーポレイト):一度死んで霊魂として蘇った？
- ・ 死体置場の死体:ちゃんと処理していれば死体を生き返らせる。

バベル-17:インベイダーの言語。人を遠隔操作したり破壊活動を行わせることが出来る。意味は『侵略しているもの』。自己充足的な分裂性人格を植え付け自己催眠で補強させる。

TW-55:綿密無比な遺伝子工学で作られた人間。スパイ。司令を発する改造人間の指示に従って服従、活動する。自我がない。「数世紀前には弱くて生きていけなかったような劣悪分子—つまりあらゆる種類の救いようのない人間の屑が、今は生き長らえおそろしいスピードで子孫を増やしています。このモデルを作るために慎重に両親を選んだ」